

IBM Maximo Asset Monitor

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。該当する注文関連文書には、お客様の発注に関する価格の詳細情報および追加の詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

IBM Maximo Asset Monitor は完全に管理された、クラウドでホストされるマルチテナント・サービスです。本オファリングには、「分析サービス」および「接続サービス」を含む、IBM Watson IoT Platform のコンポーネントが含まれています。このソリューションは、ユーザーが資産の状況をリモートで監視し、搭載されたセンサーによって各資産およびその構成要素をほぼリアルタイムで調査できるようにします。

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 IBM Maximo Asset Monitor

Maximo Asset Monitor は、履歴機能、SCADA システム、データ・レイク、IoT センサー、およびその他の運用システムにより、最新および過去のトレンド分析データをフロントエンドで視覚化します。Monitor は履歴ナビゲーション機能を活用します。この機能は、ユーザーが各システム、コンポーネント、資産、およびセンサー測定値を詳しく調べられるようにします。この階層は、複数の事前構築された AI 利用の異常検出モデルにより出される警告、分析機能のカタログ、およびカスタマイズ可能なダッシュボードと組み合わせて、実行可能な洞察を作成することで運用の可視性を高めます。

Maximo Asset Monitor は、データに適用できるすぐに使える分析および AI ベースの異常検出モデルのカタログを提供します。

すぐに使える分析機能および AI ベースの異常検出モデルのカタログが Maximo Asset Monitor に組み込まれています。受信データに適用される各機能は、1 つの KPI または計算指標になります。

下表は、本「クラウド・サービス」に含まれる使用許諾ごとの消費量を示すものです。

メッセージのサイズ (バイト数)	1 日あたりの 最大メッセージ数	PostgreSQL での 保存 (月数)	クラウドの ObjectStore での 保存 (月数)	1 日あたりの 最大計算指標
100	1,440	3	24	7,200

1.2 追加のサービス

1.2.1 IBM Maximo Asset Monitor Capacity Unit

IBM Maximo Asset Monitor Capacity Unit により、お客様は、お客様のプラットフォームのインスタンスに追加のストレージ・キャパシティをサブスクリプション・ベースで補うことができます。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」) のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」) にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション (処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連) に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。DPA は、i) EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR)、または ii) <http://www.ibm.com/dpa/dpl> に記載されているその他のデータ保護法が適用される場合に、その適用範囲に限り、「コンテンツ」に含まれる個人データに適用されます。

IBM Watson IOT Platform

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=2B4539E04A4711E79342EA59690D4322>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート (サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど) を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「個別契約書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「アイテム」とは、「クラウド・サービス」の利用により管理、処理される、または「クラウド・サービス」の利用に関連する特定のアイテムが 1 回発生することをいいます。本「クラウド・サービス」において、「アイテム」とは単一データ転送ポイント (以下「入出力ポイント」といいます。) であり、このポイントから、センサー測定値、読み込みの失敗、または状況標識などの特定のデータ計測タイプが単一センサーに送信されます。つまり、別個の「アイテム」である温度と振動の両方を 1 つのセンサーで送信できます。Maximo Asset Monitor は「アイテム」100 個単位で販売されています。
- 「キャパシティー・ユニット」は、「クラウド・サービス」の利用に関連するキャパシティーに関する別個の単位です。

サービス	追加のキャパシティー・ユニット
Maximo Asset Monitor Data Exchanged	1 か月あたり 410.26 MB
PostgreSQL on Cloud – Data Storage	1 か月あたり 546.13 MB
Cloud Object Storage – Data Storage	1 か月あたり 18,204.44 MB

5. 追加条件

2019年1月1日よりも前に締結されるクラウド・サービス契約書(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs>に掲載されている条件を適用します。